

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

令和5年6月22日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

住所

氏名 藤本 信一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	藤本牧場	
事業場の所在地	豊後高田市森	
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	01 農業	
②事業の規模	400 頭	
③従業員数	3 人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 ①自ら堆肥化 ②肥料として販売 及び農地に利用	動物の死体 ①業者に委託

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表 ―― 場長

事業主

堆肥処理方針の決定

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	5000 t	2.3 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排 出 量	5000 t	2.3 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	該当なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3000 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	750 t	t
	(これまでに実施した取組)		
堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	750 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
堆肥化			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		死体
	全処理委託量	t	2.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は、化製場に委託し、 処理している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		死体
	全処理委託量	t	2.3 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			